

▲株式会社ADDIX (アディックス)

DX実行支援により、事業会社を成長に導く

—実行力を強みとした一気通貫の体制で、成功を勝ち取る

ここに注目!

デジタルに対するビジョン・戦略の不足や導入後の運用といった課題を、伴走しながら解決。異業種の経験を備えたメンバーが多彩なノウハウを融合させ、プロジェクトを推進

株式会社ADDIXは、挑戦する企業の取り組みを、デジタルテクノロジーを駆使して、新規事業・サービスの実現や既存事業の成長支援を行う企業だ。2008年の会社設立以降、大手出版社のデジタル部署立ち上げ支援を始め、エネルギーや航空といったインフラ企業のデジタルビジネス支援などの実績を積み上げながら信頼を勝ち取り、安定して業績を拡大させている。

業界分野の的を絞り、成果の実現にこだわる

2020年春以降、新型コロナウイルスの感染が世界に広がる中で、一躍注目され始めたのがデジタルトランスフォーメーション(DX)だ。経済産業省がDX推進ガイドラインを取りまとめる2018年より前から、“ビジネスをいかにデジタル化するか”では

なく、“デジタルを前提にビジネスを考える”ことに取り組んできたADDIXにとっては、この流れは追い風とも言える。

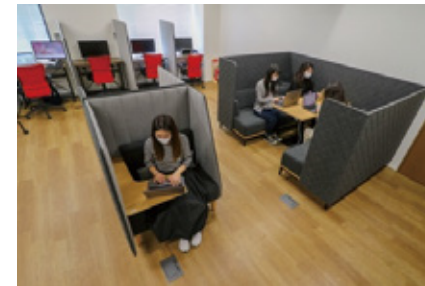
しかし、現時点では全ての業界のDX実行支援に取り組んでおらず、戦略的に業界を絞っている。ビューティー、ファッションからスタートし、現在のターゲット業界は、モビリティ、エネルギー、ヘルスケア、金融、不動産等。的を絞ることにより、クライアント企業とほぼ同じ知識水準を備える社員を確保・育成でき、ユーザー企業と正面から議論し、共に戦略を練ることができるため、成功への確度も高まる。そして、業界での成功ノウハウを別業界へ横展開させるのだ。

組織体制は、「プロフェッショナル・チーム」と呼ばれる実行チームと、司令塔となる「プロデュース・チーム」の両輪体制。

ユーザー企業を取り巻く世界に散在するデータをどう分析し、デジタルテクノロジーで解決させる術を見出し、最適なユーザーエクスペリエンス(UX)を通じ、新たな顧客体験価値を提供することに長けたプロフェッショナルメンバーと、企業に寄り添いながら全体を俯瞰するプロデューサーがセットとなり、プロジェクトの戦略から開発、リソースの選定などに取り組んでいる。要となる同社の人材だが、異業種での経験を積んだ経験豊かなメンバーをはじめ、社内勉強会の開催や、支援事例の共有会を通じて知見を蓄積することで、様々な事案に柔軟に対応できるメンバーが揃っている。

データとデジタルを基盤に様々な業態・業界を結び付け、新規事業を成功に導く

企業の事業課題に対し、構想と



コーポレートミッション「Enjoy Digital Co-evolution.」を体現するオフィス

様々な働き方を有効なものにするオフィスとして2021年4月に移転。「人と人が、つながることができる場になる」をコンセプトに、オフィスはオープンな環境と集中スペースを設置し、出社やリモートなどの勤務形態に関わらず、繋がり合えるきっかけの場としています

実現のギャップを埋め、事業やサービスを一緒に育てていくことがADDIXの売りである。この売りこそが、同社がコンサルティング会社ではなく、DX実行支援会社と表している所以である。

そのDXを『データやデジタルを使い、事業のビジネスモデルや、体制を変革し、価値提供の方法や、儲け方を変えること』と

社は表現する。時にはクライアント企業の戦略の修正も提案するという。

この先DX化が進み、データを基盤に様々な業界や業態が更につながることによって、業界の垣根そのものもなくなる、と見ているADDIXが狙うのは、クライアント企業同士のウィン・ウィンのつながりでもある。関係した企業同

士が結び付き、企業群で可能なサービスを新規開発していくことが今後の目標だ。併せて、ADDIXとしてその企業群を支える新たな自社サービス導入も視野に入れている。

確かなデジタル技術と実行力を備えたDX集団は、ビジネスの成功に着地点を置いて成長を続ける。

わが社を語る

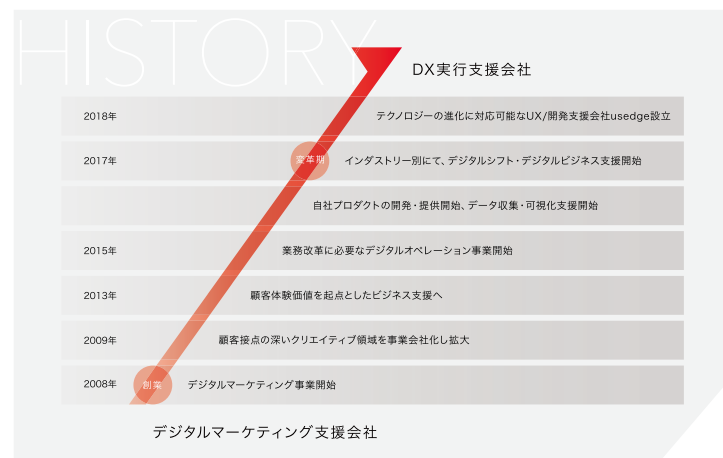
代表取締役 CEO
酒井 大輔氏



DXで顧客価値を創造し、企業や社会のポテンシャルをアップデートさせる

ADDIXは、デジタルを土俵に、テクノロジーやデータを顧客体験価値に変換することで事業を拡大させてきました。コロナ禍で進んだデジタルトランスフォーメーション(DX)では、オフラインの行動がオンラインに置き換わりました。例えば、スーパーやコンビニでの支払い行動。現金からスマホ決済が進み、非接触であること自体が、顧客体験価値となり、社会システムそのものを

一変させました。今や、多くの企業が、DXを事業成長に欠かせない共通課題としています。我々は「Enjoy Digital Co-evolution.」をミッションに掲げ、これまで培った多彩なデジタルの知見と先端的なテクノロジーの提供、時として独創的な解決策による顧客体験価値の創造で、企業や社会のポテンシャルをアップデートさせ、欲びに満ちた未来の実現に向けたチャレンジをしています。



創業からデジタルを土俵に、DX実行支援企業へ

会社 DATA

所在地：東京都港区南青山3-1-31 KD南青山ビル
設立：2008(平成20)年9月
代表者：酒井 大輔
資本金：1,000万円
従業員数：107名(関連会社含む)(2021年8月1日現在)
事業内容：デジタルトランスフォーメーション(DX)実行支援
URL：<https://www.addix.co.jp/>

